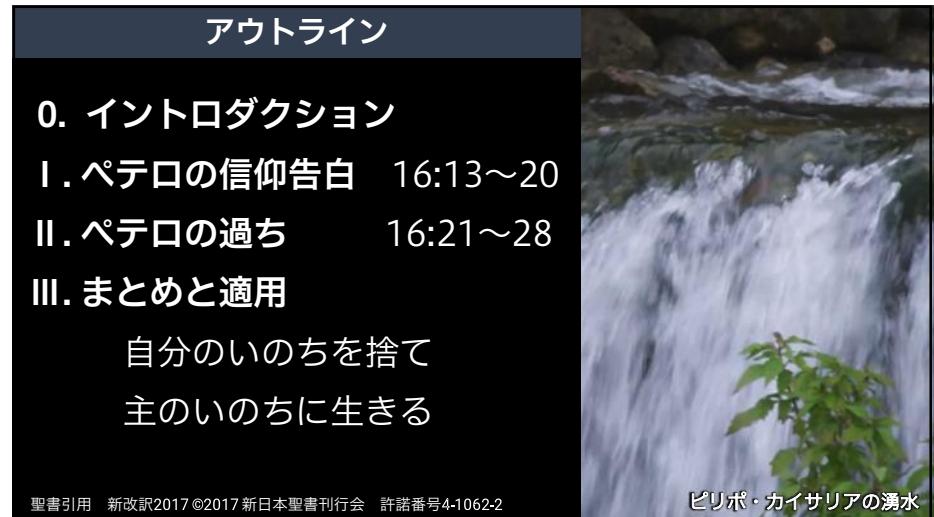




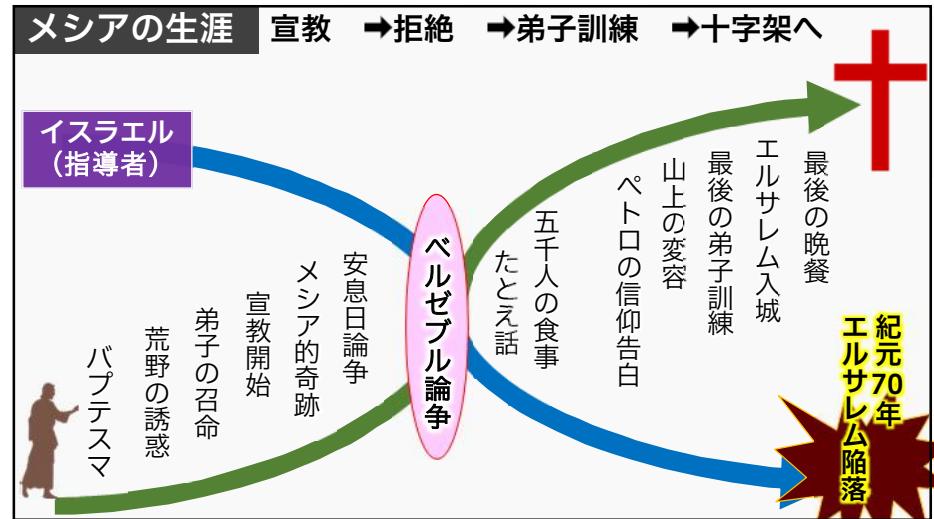
9



10



11



12

メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、**教会**の礎を築き始められている
 - ➡ 訓練された使徒たちが、**教会**の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
 - ➡ 弟子たちだけに解説される、**たとえ話**
 - ➡ 弟子たちの前で実行される、**奇跡**
- 命を狙われ、イエスは各地を巡りつつ教えられた。
 - ➡ **弟子訓練もいよいよ終盤に!!**

13



14

本編 ピリポ・カイザリアで マタイ16:13a
さて、ピリポ・カイザリア*の地方に行かれたとき、

*現在の呼び名は、パニアス(アラビア語)
パネイオン(ギリシャ神のパン神の聖所)
パン神…山羊の半身半獣の神
性的シンボルにも
後に悪魔の象徴に
ピリポの領地。北部のローマ風の都市。
ヘロデ大王が、皇帝アウグストゥスから贈与、
神殿を建設。子の領主ピリポが自分の名を付す。

15



16

本編 イエスの質問 マタイ16:13b

イエスは弟子たちに「人々は**人の子***をだれだと言っていますか」とお尋ねになった。

*“人となられた神の子” …メシアの呼称

→メシアの人性を強調、初臨の受難のメシア
「詩80:17 あなたの右にいる人の上に御手が
ご自分のため強くされた人の子の上に御手が
ありますように。」



パニアス付近の街道

17

本編 人々の主張 マタイ16:14

彼らは言った。「**バプテスマのヨハネ***だと言う人たちも、**エリヤ***だと言う人たちもいます。またほかの人たちは**エレミヤ***だとか、預言者の一人だとか言っています。」

■メシアに関連しているが、みなハズレ。

*メシアの先駆者

*生きて天に挙げられた

→メシアの先駆者

*厳しく迫害された、涙の預言者



パニアスの泉

18

本編 イエスの問い合わせ 16:15~16

イエスは彼らに言わされた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

シモン・ペテロが答えた。「あなたは**生ける神***の子キリストです。」

*反対は、死んだ偶像の神

■イスラエルの生ける神 申 5:26

「いったい肉なる者で、私たちのように、火の中から語られる**生ける神**の声を聞いて、なお生きている者があったでしょうか？」



パニアスの泉

19

本編 イエスの問い合わせ 16:16

「あなたは**生ける神の子*キリスト*です**」

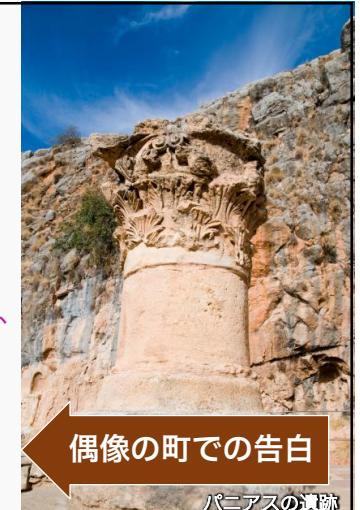
*“○○の子” …○○の性質

「雷の子」 …雷のような激しい性質

唯一の神と同じ性質 “神の子=神”

*メシア(ヘブル語) …主に油注がれた者、
救い主、王

**イエスは、イスラエルの生ける神主
に油注がれたメシアである**



偶像の町での告白

パニアスの遺跡

20

本編 主による告白 マタイ16:17

すると、イエスは彼に答えられた。
 「バルヨナ*・シモン、あなたは幸いです。
 このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です」

*“ヨナの息子”“ヨナ＝鳩” …信仰の忠実さ
 …父の名、正式名称でペテロを呼ばれた
 ■告白は、父なる神が導き出されたこと。
 ペテロの手柄ではないと明言されたが…。

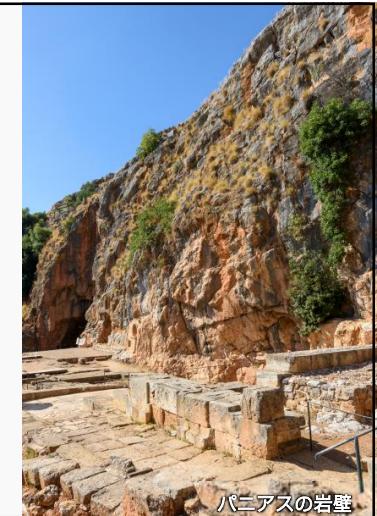


本編 岩の上の主の教会 16:18a

そこで*、わたしもあなたに言います。
 あなたはペテロ*です。わたしはこの岩*の上に、わたしの教会を建てます。

*ペテロの手柄ではないと明示の上で
 *“小さな岩”
 *“大きな岩・岩盤”
 =主が引き出された信仰告白

主は、正しい信仰告白の上に
 主の教会を建てられる



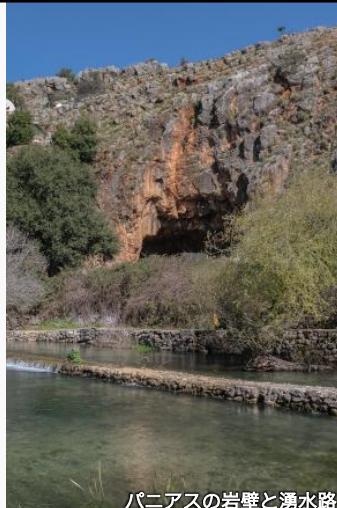
22

21

本編 岩の上の主の教会 16:18b

わたしはこの岩*上に、わたしの教会を建てます。よみの門*もそれに打ち勝つことはできません。

*“門”は、“裁きの場”
 …どんなに深い闇の勢力も、教会(眞の信者)を有罪として裁くことは不可能。



本編 天の御国の鍵 マタイ16:19

「わたしはあなたに天の御国の鍵*を与えます。あなたが地上でつなぐ*ことは天においてもつながれ、あなたが地上で解く*ことは天においても解かれます。」

*“主イエスの福音” …21節で早速示す
 →イスラエル、サマリア、異邦人へ
 *拘束・捕縛 …有罪判決
 *解放 …無罪判決
 ■使徒たちによって伝えられた福音を信じるか拒むかで、永遠の運命が決定。



24

23

本編 禁じられた告白 16:20

そのときイエスは弟子たちに、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない*、と命じられた。

- イスラエルは、公式にメシアを拒絶。
- イエスを信頼する者だけに真実が!!

かたくなられた者に、
真理の御言葉は届かない



パニアスの遺跡の湧水路

25



II. ペテロの過ち

マタイ福音書16:21～28

26

本編 示された福音 マタイ16:21

そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならぬ*ことを、弟子たちに示し始められた。

*メシアの十字架の死と復活の福音

- 救いの真髄である福音が、始めて開示。
- 福音こそ、信じる者を滅びから救う、
使徒に託された、天の御国(19節)



パニアスの遺跡

27

本編 ペテロの傲慢 マタイ16:22

すると、ペテロはイエスをわきにお連れして、いさめ始めた*。「主よ、とんでもないことです*。そんなことがあなたに起こるはずがありません。」

*“叱りつける、厳命、警告”

- メシアに対して完全に上から目線

*“主があなたを憐れまれるよう”

- ペテロは、メシアの福音を拒絶!!

メシアを叱りつける傲慢の極みに!!



パニアス

28

本編 イエスの叱責 マタイ16:23

しかし、イエスは振り向いてペテロに言わされた。「**下がれ、サタン***。あなたは、わたしをつまずかせる*ものだ。あなたは神のことを思わないで、**人のこと***を思っている」

*これ以上に厳しい叱責はない。

*メシアに罪を犯させる →サタンの誘惑

「マタイ18:7 つまずきが起こるのは避けられませんが、つまずきをもたらす者はわざわいです。」

*主の計画の成就ではない、人の願望



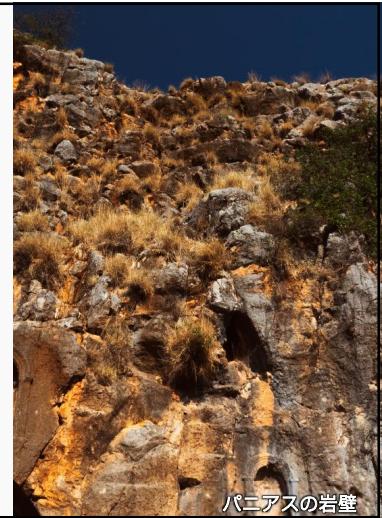
パニアスの湧水路

29

本編 弟子の覚悟 マタイ16:24~25

それからイエスは弟子たちに言わされた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、**自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい**。自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。」

弟子にも求められる十字架の覚悟



パニアスの岩壁

30

本編 世にあるいのち マタイ16:26

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。

■地上の肉体に伴う「いのち」は…、

→死んだら、地上の富はすべて失う。

→命を買い戻すことなどできない。

主が突きつける、命の現実!!



パニアスの泉

31

本編 裁き主イエス マタイ16:27

人の子は、やがて父の栄光を帯びて御使いたちとともに来ます。そしてそのときには、それぞれその行いに応じて報います。

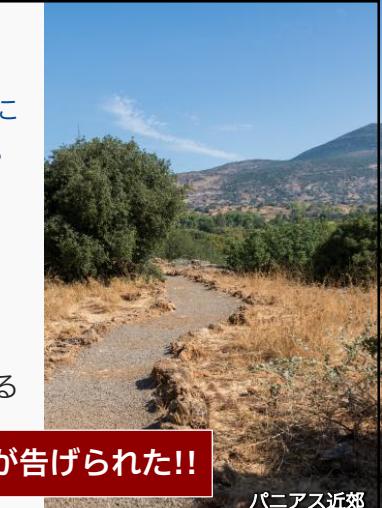
■主イエスは、裁き主・王として再臨。

→拒絶する者には、永遠の滅び

→信じる者には、永遠の命

主はそれぞれの信仰に報いを与える

初臨の十字架の死と復活 再臨までが告げられた!!



パニアス近郊

32

本編 栄光の主 マタイ16:28

まことに、あなたがたに言います。ここに立っている人たちの中には、人の子が御国とともに来るのを見るまで、決して死を味わわない*人たちがいます。」

*湾曲的な言い方

→栄光のイエスを見る弟子がいる

■その内実は、次章で明らかに!!

→ヘルモン山頂での栄光の主の顕現



33



34

ペテロの信仰告白

「あなたは生ける神の子キリストです」

■イエスは…

- ①生ける神 …イスラエルの生ける神=唯一の創造主
- ②神の子 …唯一の神と同質
- ③キリスト …主が油注がれた王・救い主

まず求められたのは、イエスをメシアとして信じること

続いて明らかにされた「福音」

「そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならないことを、弟子たちに示し始められた。マタイ16:21」

■イエスを神の子メシアとして信じた弟子たちは、十字架で死んで復活されるメシアを信じる信仰へ。

教会時代に信じるべき「福音」が明らかに!!

35

36

ペテロの過ちの本質

- 主イエスの**福音(十字架の死と復活)**を拒んだ。
→「そんなことがあってはなりません」 メシアを叱責
- サタンは、**福音**を妨害。
→十字架を経ないで王にしてやろう(荒野の誘惑:4章)
- 「さがれサタン」 =ペテロはサタン同様、**福音**を妨害
→固執したのは、神の計画ではなく、人の願望・欲望

37

警告されていた、ペテロの過ち

- 「このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。」
- 奉制されていた、歴史的信仰告白を自分の手柄にする傲慢!!
- 「わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。」
- 自分の手に、神の権威を握ったかのように誤解??
- 「**自分のいのち**を救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。」
- ペテロが捕らわれているのは、自分。自分のいのち**

38

罪の本質が、「自分のいのち」

「ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、**自分のいのち**のことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。マタ6:25」

「**自分のいのち**を救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。マタ16:25」

自分のいのちに捕らわれるのが 滅びの道

39

「自分」という罪の源流

- 人が自分で御言葉の是非を判断するのが、罪の本質 創3:4~5すると、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。それを食べるそのとき、目が開かれて、**あなたがたが神のようになつて善悪を知る者となる**ことを、神は知っているのです。」そこで、女が見ると、その木は**食べるのに良さそう**で、目に慕わしく、またその木は**賢くしてくれそう**で好ましかった。

- 主の明確な命令は、「食べるな。食べると死んでしまう。」
主との約束を自分の思いで勝手に判断 →罪の源流

40

福音の是非を勝手に判断したペテロ

マタ16:22 すると、ペテロはイエスをわきにお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあなたに起こるはずがありません。」

■メシアが苦しみを受け、殺されるなど受け入れられない。人間的には当然の感情？ →それがサタン同様の罪

主の約束　主の計画に反するのが　罪

41

明確な　主イエスの命令

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の**十字架**を負って、わたしに従って来なさい。」

■主イエスの弟子に求められるのは、**十字架**を負う覚悟。
 →世には、つまずき、愚かなもの(1コリ1:23)。
 →世から、嘲られ、辱められる(ルカ18:32)

自分の十字架を負っているか？

42

自分を十字架につけた者として

「キリスト・イエスにつく者は、**自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけた**のです。

私たちは、御霊によって生きているのなら、御霊によって進もうではありませんか。

うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりしないようにしましょう。ガラテヤ5:24～26」

■十字架を負った私たちは、「**自分のいのち**」を十字架につけた。私たちは、ただ主に従うために御言葉を学ぶ。他者にひけらかすための学びは、自分の肉でしかない。

43

御言葉の学びすら、「自分のいのち」のために…

「うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりしないようにしましょう。ガラテヤ5:26」

■知識の誘惑 …他の信仰者への優越感。他者の評論、評価。
 例)ディスペンセーションへの誤解の元
 ■学びが学びで終わっているなら、何も学んでいない。
 自分の満足、主張のため →「**自分のいのち**」が優先に!!
 過去に属していた教会や指導者への批判を続けているなら?
 →あなたも同じ穴のムジナ。悔い改めたらそれでいい。

44

嘲る者 分裂を引き起こす者

「終わりの時には、嘲る者たちが現れて、自分の不敬虔な欲望のままにふるまう。」

この人たちは、分裂を引き起こす、生まれつきのままの人間で、御靈を持っていません。ユダ1:18~19

■嘲り、他の信仰者への非難には要注意!!

例)過剰に持ち上げ、手のひら返しで非難。→自分中心
いつまでも過去に属していた教会や指導者を非難…。
→あなたも同じ穴のムジナ。悔い改めたらそれでいい

45

国籍が天にある者として

「…私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。

その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える者たちです。

しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

ピリピ3:18~20」

自分の十字架を負って主に従う者は、神の国の永遠の民

46

十字架の主イエスに招かれて①

| ペテロ2:20~25

罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。

しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された。

47

十字架の主イエスに招かれて②

| ペテロ2:20~25

キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

キリストは自ら**十字架**の上で、私たちの罪をその身に負わされた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

48

★ 自分のいのちを捨て、主のいのちに生きる ★

- 私たちが、聖書を学ぶのは、
自分の命を捨て、自分の十字架を負って生きるため。
自分自身の罪に向き合うなら、悔い改めを促される。
- 嘲り、苦難が、主に従い通した結果ならば、幸いだ。
自分のいのちを手放し、主のいのちに生きていこう。
打ち碎かれた身が、御靈で満たされていくように。

十字架で死なれ、復活された主イエスが共におられる

49

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし とう わたし つみ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし かみ こ しゅ
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたくし じぶん す じぶん じゅうじか お しゅ したが
私たちは、自分を捨て、自分の十字架を負い、主に従います。
えいこう しゅ ふたた こ とき ま のぞ よ つか
栄光の主が再び来られる時を待ち望みつつ、世に遣わされます。
う くだ み みたま み
打ち碎かれたこの身を、御靈によって満たしてください。
かんしゃ しゅ な
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

50

